

事前の心構えで被害軽減！

自然災害に備えよう

5月26日は 県民防災の日



1983年5月26日に発生した「日本海中部地震」では、県内でも津波が発生し、多くの犠牲者が出ました。その教訓を忘れないように、5月26日を「県民防災の日」と定め、さまざまな啓発を行っています。

ハザードマップを 確認しましょう！

秋田市では「津波」「水害」「土砂災害」の各ハザードマップを作成しています。自分の家がある場所の危険をあらかじめ確認し、いざというときにどのような避難行動を取るべきか、家族で話し合っておきましょう。

左記のコードまたは市ホームページから確認できます。

◆ 広報ID番号 1000015



各ハザードマップ

● 問い合わせ 防災安全対策課

☎(888)5434

防災ネットあきたに ご登録ください

防災ネットあきたにメールアドレスを登録すると、地震や大雨などの災害情報や避難指示などの避難情報が配信されます。

【登録方法】

下記のコードを読み取り、空メールを送信し、表示内容に従って登録するか、市ホームページをご確認ください。



防災ネット

◆ 広報ID番号 1009827

いざという時の 備えを考えましょう

◆ 非常持出袋を用意しよう

大地震や水害など、災害が起きた際すぐに避難できるような持出袋を用意しましょう。

袋の中身の例▶非常食・飲料水、懐中電灯、携帯用ラジオ、予備電池、持病の薬(最低3日分)、使い捨てマスク、ポリ袋など

◆ 自宅の安全を確認しよう

家具は倒れないようにしっかりと固定し、中ものが飛び出して落下しないように工夫しましょう。

水害から地域を守る

国・県・市の3者が取り組む 古川流域の治水対策

古川流域の浸水被害軽減のため、国・県・市の3者で「古川流域の総合的な治水対策協議会」を設立し、治水対策に取り組んでいます。

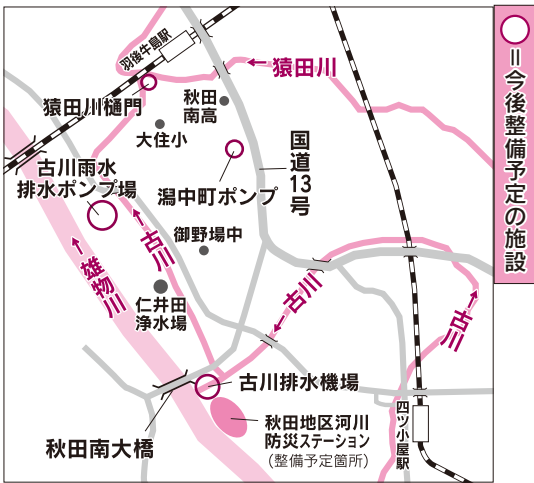
3月に開催した第8回協議会では、排水機場や樋門整備などのハード対策の進捗状況などを確認しました。

今後も古川流域の治水対策について、協議会などを通してみなさんにお伝えしていきます。協議会の資料は、市ホームページでご覧いただけます。

◆ 広報ID番号 1016764

● 問い合わせ

道路建設課 ☎(888)5749



■ 主要な地下道に 水位表示ラインを設置

地下道には冠水状況を確認できる水位表示ラインを設置しています。普段から表示に注意して冠水が確認されたら無理に進入せず、迂回するなどしてください。

● 問い合わせ

道路維持課 ☎(888)5751



表示色	水位	危険度
黄	高 1.0m	車が流れ出す
橙	↑ 0.5m	ドアの開閉が困難となる
赤	低 0.2m	車の走行が著しく困難となる

■ スマートフォンなどで水位情報を リアルタイムに確認できます

古川沿いと主要な地下道に設置したカメラの映像を市ホームページでご覧いただけます(左記それぞれのコードからも)。災害時の早めの対応にぜひ活用ください。

【古川】 広報ID番号 1022964

● 問い合わせ

道路建設課 ☎(888)5749

【地下道】 広報ID番号 1041503

● 問い合わせ

道路維持課 ☎(888)5751



地下道カメラ



古川カメラ